

第21回 白山市 図書館を使った調べ学習コンクール 募集要項

●調べるテーマは自由です。自分の設定したテーマで調べてください。

- ・応募者自身のオリジナルの作品に限ります。(学校内での発表作品は応募可能)
- ・他のコンクールとの二重応募はできません。
- ・調べた結果だけでなく、調べようとしたきっかけやどのように調べを進めていったか、そしてその結果何が分かったのか、をまとめてください。

●図書館の資料を利用して調べてください。

- ・学校図書館、公立図書館を利用してください。(インターネットのみによる調査は対象としません)
- ・利用した図書館名を書いてください。(「市立〇〇図書館、△△学校図書館で調べた」など)
- ・文章、図、写真など、参考文献について必ず書いて下さい。
(自身の過去の応募作品から引用する場合も、参考文献扱いとなります。)

《参考文献》の記入について

- 参考にした資料は、「書名」「著者名」「出版社」「出版年」などを、インターネットの情報は、「URL」「検索した日付」を必ず書いてください。写真は、「撮影者の名前」を書いてください。

●応募作品の形やサイズ、ページ数などに制限があります。

- ・大きさは、小学生は最大B4サイズ(八つ切サイズは不可)、中学生は最大A4サイズです。
- ・50ページ以内でまとめてください。ページ番号も必ず付けてください。
(表紙、目次、参考文献一覧はページ数に含みません)
今回から集めた情報をまとめた資料集も作品のページ数に含まれます。
- ・原稿用紙、画用紙、パソコンからの出力紙、模造紙等どのような素材でもかまいません。
- ・調べたことに関する工作や見本などをつけることもできます。
- ・PC出力紙の場合は文字サイズ 11 ポイント以上、1 ページ 1,000 文字を目安としてください。

○募集期間：令和8年8月1日(土)～8月31日(月)

○応募資格：白山市に在住、または在学の小学生・中学生(グループでの応募もできます)

○応募方法：市内へ通学している方は、通学先の学校図書館に提出してください(校内で一次選考を行います)。

市外へ通学している方のみ、白山市立図書館で直接応募票を受け取り、図書館へ提出してください。

※このコンクールは、「図書館を使った調べる学習コンクール」の地域コンクールです。

上位の作品は、公益財団法人図書館振興財団が主催する全国コンクールの三次審査に推薦されます。

※本市コンクールにおける上位入賞作品の著作権は白山市教育委員会に帰属します。

※全国コンクールに応募された時点で、公益財団法人図書館振興財団がコンクール事業において作品を無制限・無償で非独占的に利用することを許諾するものとします。

※入賞者は市広報・ホームページ等で氏名・学校名・学年・作品名が発表されます。

上位入賞作品は、はくさん電子図書館上で作品が公開されます。(予定)

● 作品づくりの参考になるWEBサイト

- ・白山市学校図書館支援センター 特設ページ「調べ学習にチャレンジしよう！」
調べ方のコツや、参考文献リストの様式が掲載されています。

URL : <https://www.city.hakusan.lg.jp/bunka/gakko/1004574/1004575/1016206.html>



- ・はくさん電子図書館
昨年度の優秀作品の一部を、スマホやタブレット、パソコンなどで閲覧できます。
(閲覧には、白山市立図書館利用券が必要です)

URL : <https://web.d-library.jp/>

- ・図書館を使った調べる学習コンクール(財団法人図書館振興財団)
「調べ学習を知る」←調べ方やまとめ方、引用や参考文献の書き方が紹介されています。資料別リストの様式もダウンロードできます。
「入賞作品をみる」←全国コンクールでの入賞作品が閲覧できます。

URL : <https://concours.toshokan.or.jp/>



● 作品をよりレベルアップしたいなら (全国コンクールの規定から紹介します)

・調べたことをまとめるときは、「学問的誠実性」(人の考えをそのまま写さない、自分で調べたことだけを書く、引用したらその事をきちんと書く)を尊重しましょう。事典や図鑑のように情報を羅列して書くよりも、疑問に思ったことを調べて考え、自分なりに答えを導き出すようにするとぐんと作品が良くなります。

・調べたときに利用した資料の情報や利用した図書館名は、「参考・引用文献一覧」を作成して巻末につけましょう。(インターネットで調べた場合も同様)記入用紙は松任図書館で配布するほか、学校図書館支援センターや全国コンクールのホームページからもダウンロードできます。

・継続したテーマで応募する場合は、過去の自分の作品も別作品と考えて引用し、「参考・引用文献一覧」に、作品名、作者名、制作年を掲載しましょう。

・本やインターネットなどの情報から引用した文章や図・グラフ・写真などの画像は、参考・引用文献一覧に掲載するほか、引用した場所に直接引用元を明記するのが望ましいです。文章を引用したときは、引用部分を囲むなどして、自分の書いた文章とはっきり分けましょう。

・本から引用する図などは、コピーを切り貼りするよりも、理解しながら書き写すほうが望ましいです。

・生成AIによる成果物をそのまま作品として応募することはできません。調査の一部に生成AIを使用した場合は、出典を明記しましょう。(いつ、どの生成AIにどんな質問をしたか、その結果どのような回答を得たか)また、得た回答は参考にとどめ、内容の正確性については他の資料も使って検証するとよいでしょう。

・電子データ(Word、PowerPointなど)を印刷した作品の場合、全国コンクールに推薦されるとデータの提出を求められる場合があります。

・施設見学等での取材や専門家への質問・回答などで得た他者の個人情報(所属・氏名、顔写真ほか)を作品に記載する際は、予め掲載許諾を得るようにしましょう。また、作品が上位入賞した場合には電子図書館等で公開される可能性があることも伝え、公開の可否も確認しておくといでしょう。(該当箇所を目隠しまたは全体を非公開とすることもできます)